

第三者割当増資についてのお知らせ（シリーズ B）

タグシクス・バイオ株式会社（代表取締役社長 古関千寿子、以下「タグシクス社」）は 2018 年 4 月 24 日を払込期日として、株式会社東京大学エッジキャピタル（東京都文京区本郷、代表取締役社長 郷治友孝）、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（東京都中央区八重洲、代表取締役社長 石橋達史）、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（東京都文京区本郷、代表取締役社長 大泉克彦）、みずほキャピタル株式会社（東京都千代田区内幸町、代表取締役社長 齊藤肇）4 社を引受先とする総額 5 億円の第三者割当増資を実施致しました。

当社は独自の人工塩基対システムを用いた DNA アプタマー（高機能核酸分子）「Xenoligo™」の医療応用を推進しております。アプタマーは、「合成できる抗体」ともいわれ、特定の分子と立体的に結合する核酸（DNA や RNA）やペプチドであり、抗体医薬と同じように標的とするタンパク質に特異的に作用することで医薬品等として活用することが可能です。

当社の「Xenoligo™」は、①人工塩基によるタンパク質への高い結合力（ランダムに生成可能な 10^{14} 以上の巨大なライブラリーから高い結合力のものを選択可能）、②独自技術による安定化（医薬品として十分な体内安定性の実現）、③低い製造コスト（抗体医薬と違い化学合成で製造可能）、④高い汎用性（抗体医薬が狙いにくい標的に対しても適応可能）といった特徴があります。

当社は Xenoligo™ の医療応用を目指して 2016 年 8 月にシリーズ A 資金調達を実施、その後 2017 年 10 月に本社研究所を東京大学駒場オープンラボラトリー（東京都目黒区駒場 4-6-1）に移転し、研究開発環境の充足ならびに人材の補強を致しました。

今回の資金調達により、現在締結中の複数の製薬会社等との協業プロジェクト、新規の共同研究開発提携、ならびに自社創薬プロジェクトをスピードアップさせ、より早く当社技術が医療に貢献することを目指してまいります。